

認 定 書

国住指第 4213 号
平成 25 年 3 月 15 日

日鐵住金建材株式会社
代表取締役社長 増田 規一郎 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第二号（床：2 時間（第一号）、1 時間（第二号））の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP120FL-0117
2. 認定をした構造方法等の名称
吹付けロックウール被覆／コンクリート・デッキプレート造床(合成スラブ)の
性能評価
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
吹付けロックウール被覆／コンクリート・デッキプレート造床(合成スラブ)

2. 申請仕様の寸法：
申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目	申 請 仕 様
支持方法	単純支持又は連続支持
支持部材間隔	構造計算により構造安全性が確かめられたスパン
床厚	125～175mm

3. 申請仕様の主構成材料：
申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項 目	申 請 仕 様
デッキプレート	材料：デッキプレート(JIS G 3352) 種類の記号：①～⑤の一 ①SDP1TG ②SDP1T ③SDP2G ④SDP2 ⑤SDP3 厚さ：1.0～1.6mm 山高さ：75(±1.5)mm 働き幅：600(+8、-2)mm 降伏点：205N/mm ² 以上
コンクリート	材料：レディーミクストコンクリート(JIS A 5308) 種類：普通コンクリート 呼び強度：18～36 厚さ：デッキプレート山上から50～100mm
吹付けロックウール	材料：①及び② ①ロックウール 規格：人造鉱物繊維保温材(JIS A 9504) ②セメント 規格：ポルトランドセメント(JIS R 5210) 種類：1)、2)又は3) 1)普通ポルトランドセメント 2)早強ポルトランドセメント 3)超早強ポルトランドセメント 配合(質量%)： ロックウール 60(±5) セメント 40(±5) 密度：0.28g/cm ³ 以上(絶乾) 厚さ：20mm以上

4. 申請仕様の副構成材料：

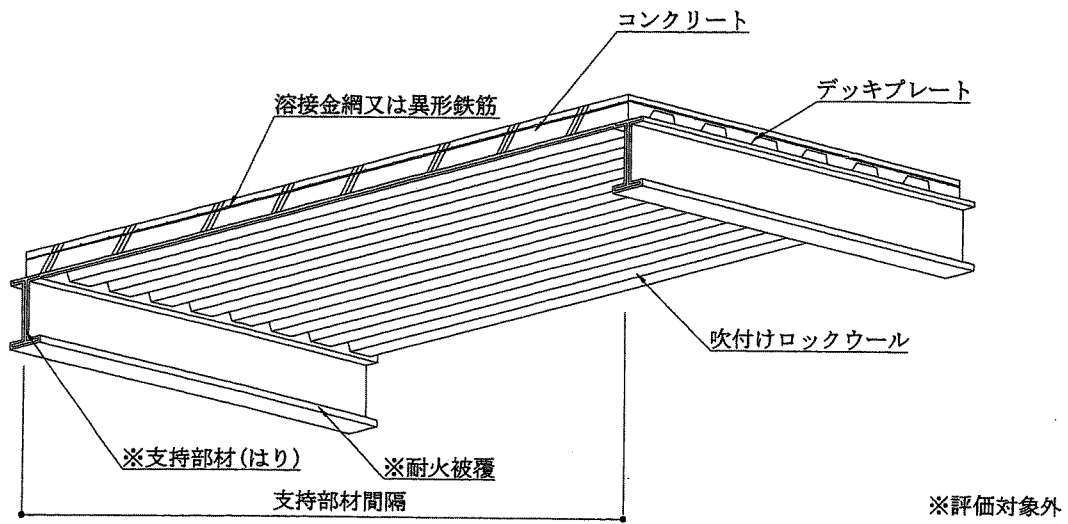
申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

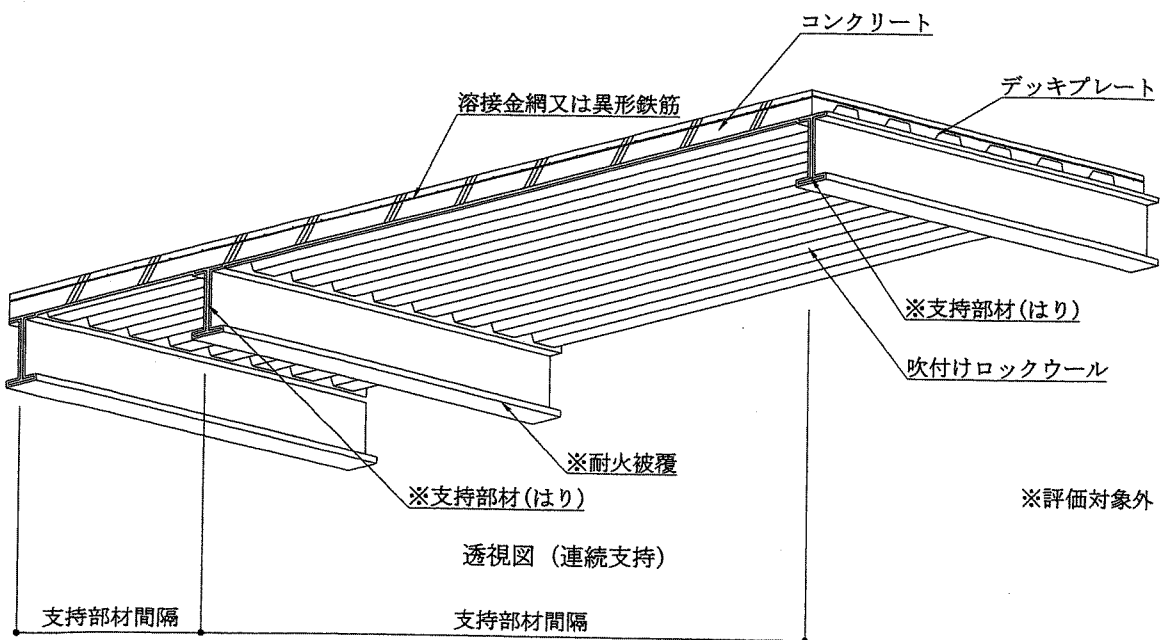
項目	申請仕様
溶接金網又は異形鉄筋	仕様：①、②又は③ ①溶接金網(JIS G 3551) 鉄線の形状：1)又は2) 1)丸鉄線 2)異形鉄線 径：6mm以上 網目間隔：150×150mm以下 ②鉄筋格子(JIS G 3551) 径：6mm以上 網目間隔：150×150mm以下 ③異形鉄筋 材料：1)又は2) 1)鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112) 種類の記号：a)～e)の一 a)SD295A b)SD295B c)SD345 d)SD390 e)SD490 2)鉄筋コンクリート用再生棒鋼(JIS G 3117) 種類の記号：a)又はb) a)SDR295 b)SDR345 寸法：D10以上 取付間隔：200×200mm以下 かぶり厚さ：床板上面から30mm以上
スペーサー	材料：①又は② ①鉄線 ②セメントモルタルブロック 取付間隔： デッキ溝方向；1000mm以下 デッキ溝直行方向；900mm以下

5. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1～図3に示す。

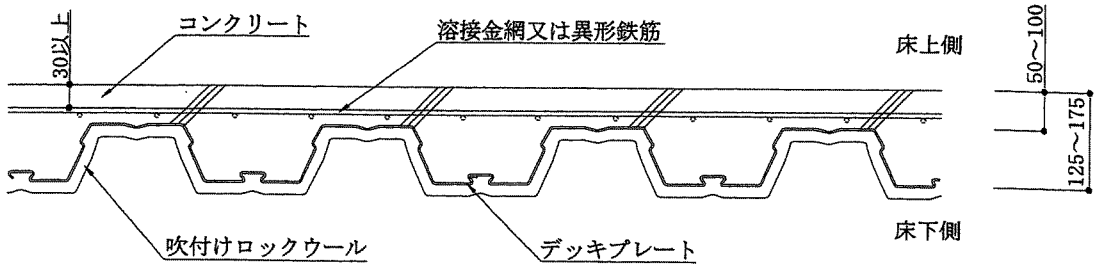


透視図 (単純支持)

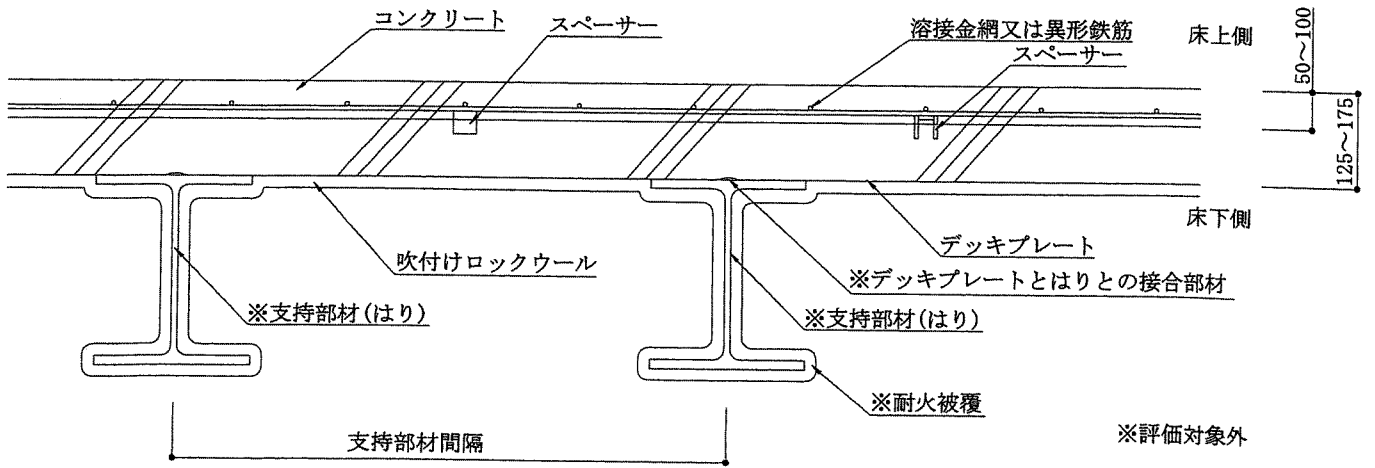


透視図 (連続支持)

図1 構造説明図

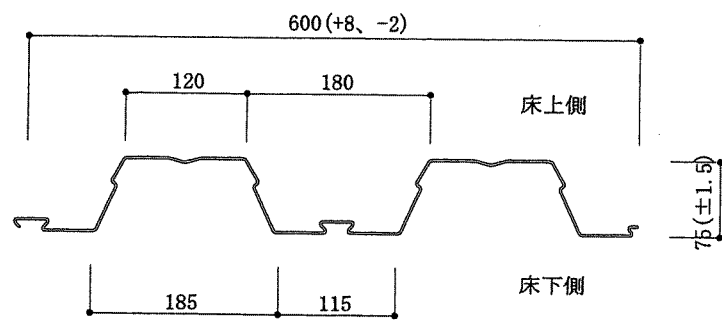


幅方向断面図



長手方向断面図

図2 構造説明図



デッキプレートの形状図

図 3 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図4に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) デッキプレートの敷込み

デッキプレートを墨出し線に合わせてはりに配置し、デッキプレートをはりにアークスポット溶接等で仮止めする。

(2) デッキプレートとはりとの接合

デッキプレートとはりとは、すみ肉溶接、焼抜き栓溶接、打込み鉋又はアークスポット溶接で結合する。

(3) 溶接金網又は異形鉄筋

コンクリートのひび割れ拡大防止のためスラブ上面より約3cmの位置に溶接金網又は異形鉄筋を設置する。

(4) コンクリート打設

鉄筋が移動しないよう注意しながらコンクリートを不陸なく打設する。

コンクリートの施工については、日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に準拠する。

(5) 仕上げ

コンクリートの表面に金ごて等の仕上げを施す。

(6) コンクリート養生

施工後の養生は、日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に準拠する。

(7) 吹付けロックウール

(a) 工場配送の場合

吹付け機で作業階まで輸送された配合材料を、ノズル先端の周囲から噴霧化された水で包み込み、湿潤させながら均一に下地面に吹付ける。配合材料に対する水の量は0.75～1.0(質量比)%の範囲とする。

(b) セメントスラリーを用いる現場配合の場合

イ) スラリーの調合

あらかじめ水とセメントを攪拌機で混合しスラリーとする。スラリー中のセメント濃度は25～40(質量比)%とする。

ロ) 吐出量の調整

ロックウール及びスラリーの吐出量および配合比率を満たすように調整する。

ハ) 吹付け

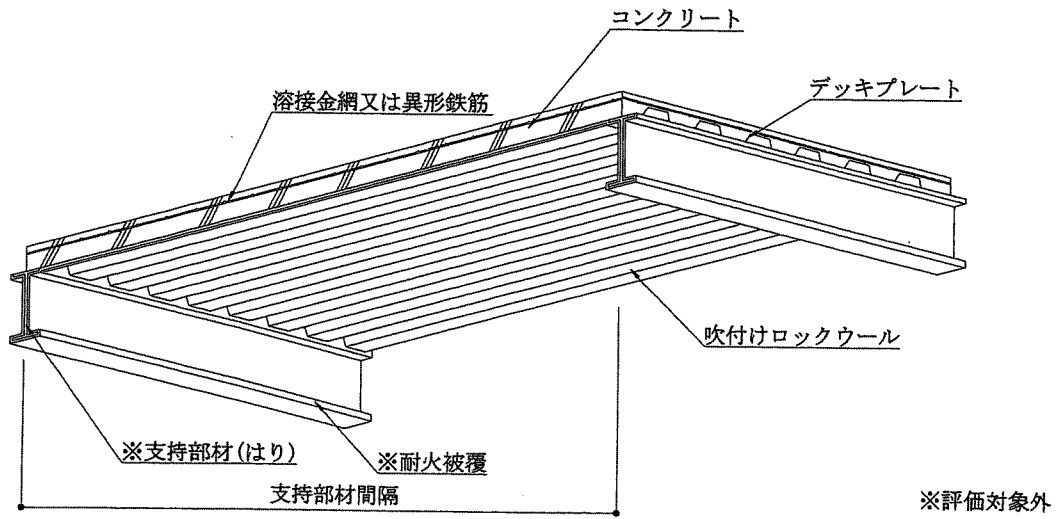
吹付け機で作業階まで輸送されたロックウールをノズル先端部で噴霧化させたスラリーと混合しながら均一に下地面に吹付ける。

吹付け面に浮き錆および付着油等、吹付けに支障を起こすおそれのあるものは十分清掃する。デッキプレートとはりとの取合部は吹付け施工の際、隙間のないように施工する。

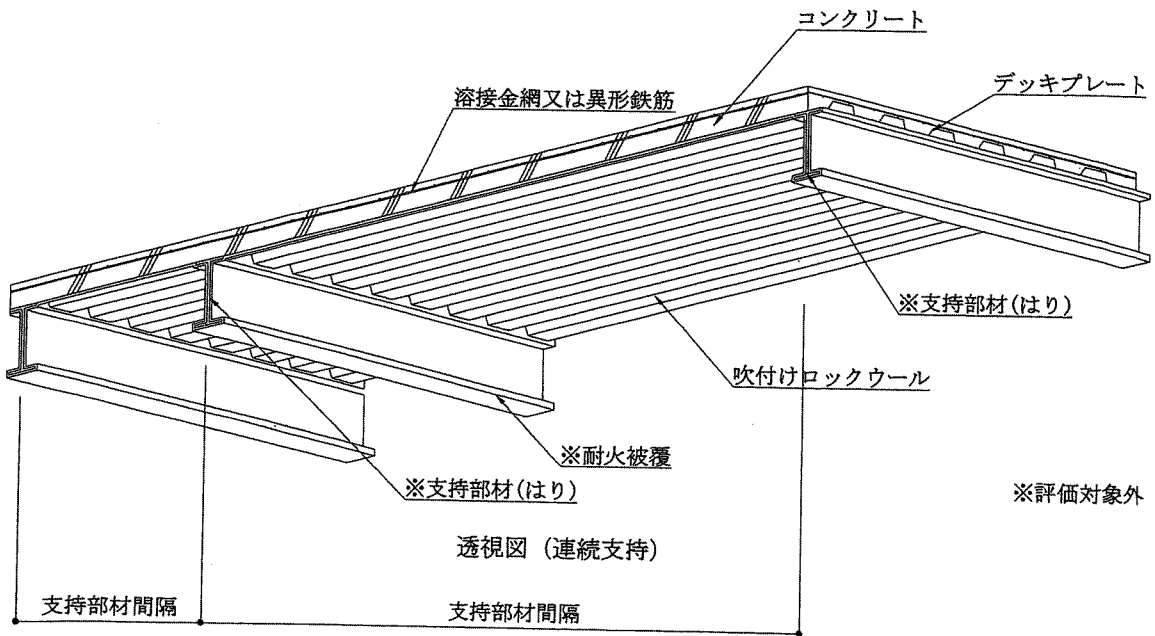
吹付け作業者は、厚さ測定器で吹付け面積5m²毎に1カ所以上厚さを確認しながら吹付けを行う。

7. 注意事項：

当該デッキプレートの設計は、日本鉄鋼連盟編集「デッキプレート床構造設計・施工規準-2004」に準拠する。



透視図 (単純支持)



透視図 (連続支持)

図4 施工図